

しゃくなげ

学校の教育目標 志をもち 仲間とともに創りだす生徒



七宗中 HP
一部 PW をつけ
ました。

外部講師から学ぶ「自律・協働・挑戦」

校長 福井敏彦

11月は外部講師を招いて学ぶ機会が多くありました。いずれも年度当初に計画していたものではありませんでしたが「ぜひ七宗中で」という依頼に「まずやってみよう」と実施しました。

平和学習 ～カブチ山田クリニック 山田博愛先生～

12月開催レッキーマラソンの実行委員でもある山田先生、イベント当日「国境なき医師団」の方が来町されパネル展示がなされることを機会に、平和についてみんなと考えたいという願いのもと「ガザを通して平和について考える～国境なき医師団の紹介～」と題して講演されました。

ガザの状況、歴史の解説部分は難しい内容もありましたが、決して無関心であってはいけない問題です。「暴力や差別をなくすにはどうしたらよいだろうか?」といった問いに「話し合うこと」と答える生徒の姿に、本質を見抜き自分事として考えようとする頼もしさを感じました。

生き方講話(ちいき絆ねっと学の陣)～美濃加茂青年会議所 板頭優佑さん・瀬瀬和哉さん～

「建築士は、お客さんの夢(家)を具現化する仕事」「一つの業種でもさまざまな能力が求められます。それは様々な経験や個性が生かせるということです。」体験をふまえて語る板頭さんの言葉には説得力がありました。「途中、息を吸うことを忘れそうなほど緊張しました。」という瀬瀬さん。「10億円もらえるかわりに寝たら二度と起きれなかったとしても受け取りますか? 当たり前だと思う中に気付かなかった価値がある。」等、ユニークな中に本質を問う語りが印象的でした。

「お二人の話で共通していたことは、無駄な経験は何一つないんだなということです。」という生徒の感想は、何事にも挑戦し経験値を高めようとする決意の表れだと感じました。

犬の気持ちを知るセミナー ～Wanvoice 渡邊香織さん～

総合的な学習の時間に「犬」をテーマに取り組むチームの要望と、「中学生対象にセミナーを開きたい」という渡邊さんの想いが合致し開催に至りました。

◆「犬のしつけ」ではなく「犬育て」という大切さがわかった。◆犬の本能にどう付き合っていくのか考えることができた。◆言葉が通じない分態度で感情を表現するので、主人となる私たちがしっかりと見てあげないといけないと学んだ。◆ドミとサミの状態を見極めて接したい。◆実際に犬と触れ合ったとき、的確に指示を聞けることがすごいと思った。◆飼い主として最後まで犬たちを支え、命を守りたいと思った。◆家でも散歩の練習を頑張りたい。◆犬の方向に正面から行くことは気を付けたい。 など

「問題行動が起きる時、変わらなければいけないのは犬ではなく人」という渡邊さんの想いから「協働してよりよい生活を創る営みには他者理解が不可欠」という気付きを得ました。

社会で幸せに生きる力を「自律・協働・挑戦」の側面から育む七宗中の営みを、多角的に見るよい機会となりました。講師の皆様、ありがとうございました。